



2月の園だより

学校法人 志賀学園
松の実こども園
令和3年2月1日

寒い中にも春の足音が聞こえてくるような今日この頃。先日は、天日に干した鏡餅を給食室で揚げ餅にさせていただき、無病息災を願って食べました。

2月2日は節分です。例年でしたら3日ですが、今年ほうとう年と同じような感覚で、1年間を二十四節気に当てはめると、ずれが生じ3日が立春に当たるので、その前日ということで2日が節分となるということです。因みに、明治30年以来の124年ぶりだそうで大変貴重な年に当たりますね。節分は「季節を分ける」という意味があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことです。昔は、立春が一年の始まりでしたので、節分と言えば立春の前日を指すようになりました。悪いものや災いにたとえた鬼を、豆をまいて追い払い一年の幸せと無病息災を願いましょう。「福は内！鬼は外！」と豆まきをした後に豆を食べますが、食べる数は数え年（満年齢+1）の数だけ食べると一年間病気をせずに元気に暮らせるということです。こども園では、節分に自分で作った鬼のお面をかぶり豆まきをします。つの箱に落花生を持ち帰りますので、各ご家庭でも豆まきをし、窒息や誤嚥事故に気を付けて、親御さんの元でよく嘯んでお召し上がりください。

そして、2月27日は、ばら・すみれ・さくら組さんは、一年間の締めくくりの行事わくわくキッズコンサートがあります。志賀学園では、理事長先生はじめ各園の先生方で、コロナ禍の中どのようにすれば子どもたちが例年通り音楽活動に取り組み、その成果を発表できるか考えてきました。常日頃から鍵盤ハーモニカの扱いには気を配り、使用後のマウスピースは殺菌消毒をして管理してきました。当日は、間隔を開けたりフェイスシールドを付けて歌をうたったり演奏したりしながら、各クラスごとに行います。保護者の皆様には引き続き、検温と消毒、観覧者の人数制限や換気、間隔を開けてのご鑑賞などのご協力をお願い致します。ばら組さんは可愛らしい歌声でうたったり、打楽器を鳴らす楽しみを味わってきました。すみれ組さんは、英語の歌を覚えたり、メロディオンもきちんと指を動かして、きらきら星が弾けるようになりました。さくら組さんは、これまでの音楽活動の取り組みにより、皆で心と音を合わせて行進曲の合奏に取り組みできました。長い英語の歌や心に残る大好きな歌を歌います。子どもたちは、様々な楽器の演奏や、共に歌うことで、お友だちと協力して一つの曲を完成させる喜びを味わいながら情緒豊かに育っております。もも・たんぼぼ・ちゅうりっぷ組の子どもたちも、曲に合わせて歌をうたったり、打楽器や先生が作った手作り楽器を鳴らして音楽に親しんでいます。当日は、お子様の成長を楽しみにご覧ください。